

## WG報告

### 1. WGメンバー（敬称略）

大西」肢体不自由児者父母の会、小幡」湘南福祉センター、安田」翔の会、  
中野」けやきの森病院、中澤、木内、柏木」町、佐藤、木下」すまいる

### 2. WGにおける検討方法

#### （1）「相談支援」というキーワードから相談及び障がいを含む全体を掴む

##### ・第一回WG（2015/8/5）

フリーディスカッション（自由討議）形式で様々な現状、意見を出し合った。

結果、いろいろな現状の関連が少し見えてきた。これを問題関連図の形式で整理した。

##### ・第二回WG（2015/9/17）

第一回目の問題関連図に対して訂正（関連の誤り含）、追加を討議した。

※参照：問題関連図（1/4～4/4）

#### （2）アンケート、ヒアリングの概要を検討

##### ・第三回WG（2015/12/24）

2回のWGを通して作成した問題関連図を基に、意見を求めるところを検討した。

アンケート（ヒアリング）方法を検討した。

### 3. アンケートの方向性について

#### （1）問題関連図を通した目の付け所

- ・「障がい」ということもわからず相談したい場合があるのではないか
- ・「生活しづらい」ということで悩んでいる人がいる
- ・わからない中に隠されていることがありそう

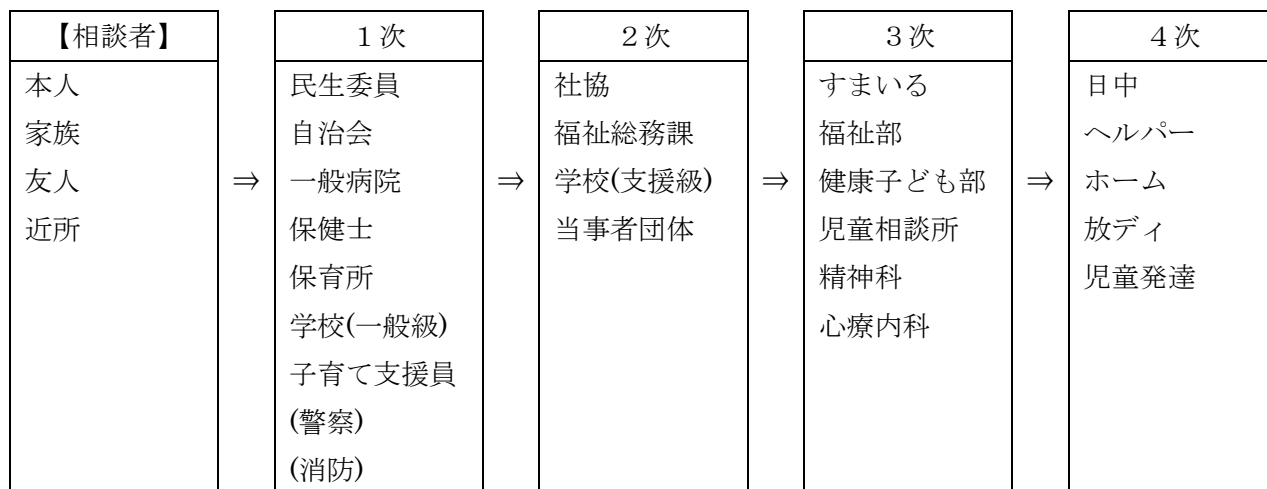
#### （2）アンケート方針について

我々は、障がいを理解し、サポートする人・施設も知っている。しかし、そこに辿り着くまでのルート、辿り着かないで挫折？する場合はわかっていない。まずは全体を知る必要があるのではないか。

広い対象者（相談の初期段階を受ける相談員）に30～40分程度で記述できるアンケートを実施し、全体を把握する。その結果で焦点を当てるところを再度検討する。

4. アンケート内容の概要について

(1) 相談の流れ



(2) 相談された場合のパターン

「相談に来る(紹介又は単独)」⇒「話を聴く」⇒「対応する」

(3) 対応内容

- ・相談者が話をしただけで満足した
- ・相談員がその場で解決した
- ・対応できる相談員（施設）を紹介した
- ・何もできずに終わった

(4) 結果の把握

- ・解決した
- ・解決しない
- ・わからない

【アンケート（案）】

I. あなたの役割及び開始時期を記載してください。

役：\_\_\_\_\_、昭和・平成\_\_\_\_\_年～ 又は\_\_\_\_\_年間

II. 主な訴え（主訴）の件数（概数）を記載してください。

記載方法：この1年間の件数／すべての件数

相談者 主訴	本人	家族（親族）	友人	近所	その他
金銭	/	/	/	/	/
健康	/	/	/	/	/
生活	/	/	/	/	/
障がい	/	/	/	/	/
介護	/	/	/	/	/
子ども	/	/	/	/	/
引きこもり	/	/	/	/	/
その他	/	/	/	/	/

III. 代表的な10件程度の相談パターンを記載してください。

	主訴	相談者	紹介者	紹介先	結果
例	金銭	友人	なし	社協	就職が決まり解決
1	_____	_____	_____	_____	_____
2	_____	_____	_____	_____	_____
:					

IV. 具体的な内容（印象に残った、対応に悩んだ等）について5件程度記載してください。

	内容	結果
例	近所の子供が泣いている。福祉総務課に相談し、児相が出向いて話を聞いた。	解決した
1	_____	_____
2	_____	_____
:		

V. 次の役割を知っていますか

人まで知っている：◎ 役割を知っている：○ 名称だけ知っている：△ 知らない：×

民生委員		社協		相談支援事業所		日中事業所	
自治会		福祉総務課		町福祉部		ヘルパー	
保健士		学校(支援級)		町健康子ども部		グループホーム	
子育て支援員		当事者団体		児童相談所		放課後デイ	
				精神科		児童発達支援	
				心療内科			